

### 郡司、藤田両氏 問責決議で登壇

安全保障関連法案採  
決に絡む参院本会議が  
18日あり、民主党の  
郡司彰参院会長が安倍  
晋三首相問責決議案

で、同党の藤田幸久氏  
が中谷元・防衛相問責  
決議案でそれぞれ登壇  
し、特別委員会の強行  
採決を批判した上で安  
倍政権の政治姿勢を指  
弾した。

与党の動議で討論時  
間が10分以内に制限さ  
れる中、郡司氏は趣旨  
説明で10分すぎから与  
党の「終わりにしろ」  
などのやじにさらされ  
ながらも約20分間演説  
し続けた。

「安保法制は立憲主  
義への挑戦」とする郡  
司氏は、同法案で専守  
防衛の原則が崩壊して  
いると指摘。昨年7月  
の集団的自衛権の行使  
を容認する憲法解釈の  
閣議決定を挙げて「憲  
法や法の支配、民主主  
義を否定するに等し  
い、危険な政権をこれ  
以上存続させてはなら  
ない」と語気を強めた。

国会周辺で反対デモ  
が連日続いている現状  
について、「国民の切  
なる思いに耳を傾けず  
に目を背け、真摯に向  
き合うことから逃げて  
いる」と安倍首相の姿  
勢を批判した。

藤田氏も、委員会質  
疑で中谷大臣の度重な  
る答弁の停止や撤回を  
挙げ、「重責にふさわ  
しい仕事をしたといえ  
ない」と訴えた。

自衛隊出身の中谷大  
臣が自衛官のリスク対  
策が担保されていない  
欠陥法案を出したと  
し、「安保法制の危険  
性と国民の意思、憲法、  
命を無視する中谷大臣  
を看過できない。自衛  
官の命を最も軽視した  
防衛大臣として歴史に  
名を残す」と締めくく  
った。(高岡健作)